

平成二十七年年度 「重度肢体障害者日帰り慰安旅行」

在宅の重度肢体障害者が戸外で一日団体行動をする事により「ふれあい」と親睦を深め心身のリフレッシュを図り、社会適応能力を推進する事」を目的にした「重度障害者日帰り慰安バス旅行」は千葉市身体障害者福祉会が毎年開催しています。

今年度は九月十五日(火)千葉市の福祉バス「たいよう号」を利用し、茨城県の「牛久大仏」見学と「インターナショナル

ガーデンホテル成田」での食事会を行います。

参加決定者は時間厳守の上、乗車場所には早めに集合して下さい。例年時間ギリギリの集合によつて出発が遅れる恐れがありますので、ご協力を

また、身体障害者手帳を必ずご持参下さい。たいよう号帰着予定時間は、市役所十六時頃となります。

(旅行委員会)

第三十五回「千葉県身体障害者ふれあい健康ボウリング大会」開催

前号でも掲載しましたが九月十二日(土)JFE千葉リバーレーンにてふれあい健康ボウリング大会が開催されます。例年十月上旬に開催の本大会がJFE千葉リバーレーンが九月末日を持って老朽化(耐震、水回り等)に

より閉館が決定しました。このため今年度は一ヶ月繰り上げ九月十二日(土)十時スタートで行われます。他会場(六ヶ所)は十月三日(土)に開催されます。

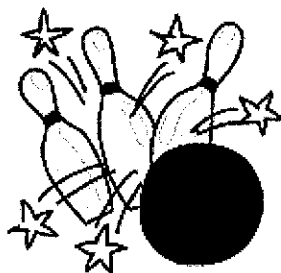
この大会にて個人総合上位十五名(男性十

名、女性五名)が十一月二十九日(日)開催予定の第四十九回「宮様チャリティ」ボウリング大会へ派遣されます。

本大会の目的

「県下身体障害者がボウリングを通じて、体力の維持と増強、機能の回復等残存能力の向上と自立意欲を高め相互の連帯と交流を深め社会に対する啓発を図る」

(体育委員会)



第四十六回

「政令市ボウリング大会」終わる

政令市ボウリング大会は平成二十七年八月二十九日(土)、三十日(日)の二日間にかけて開催されました。

二十九日朝六時二十分JR千葉駅集合、総武快速、京急快速で羽田へ、そこから空路で北九州空港へ、十一時四十五分小倉駅ロータリーに到着、目前のリーガロイヤルホテル小倉のフロントに手荷物を預け各自で昼食を済ませる。その後小グループにて小倉城見学、レトロ街探索、トロッコ電車乗車と楽しみました。

十八時四十五分、ホテル四階ロイヤルホールにて「政令指定都市身体障害者団体連絡協議会」参加者とボウリング参加者、応援者、約二百四十名にてボウリング開会式、交流会が開催。北橋健治北九州市長、戸町武弘市議会議員、第

六十回日身連福祉大会みやぎ大会で新会長に就任された松井逸朗氏が参加され歓迎と激励の心あたたまるご挨拶がありました。

二日目、六時三十分より朝食、送迎バスで桃園シティボールへ。十一チームにて午前二ゲーム、午後三ゲームの六ゲームトータルで争われ、優勝福岡市、準優勝神戸市、三位大阪市。千葉市は前回より順位を一つ上げ九位となりました。

千葉市敢闘賞には鳥井章(身障福祉会)、北九州市選出特別賞に川松トミ子(視覚協会)、田口圭一選手は二百六十五ピンで男子ハイゲーム賞を受賞と素晴らしい成果、実りある大会で無事終了致しました事を記し第四十六回ボウリング北九州市大会の報告と致します。

(ほとんどの結果で名前を出さない選手も)

第三十六回 「九都県市合同防災訓練」

九都県市合同防災訓練は、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、さいたま市の九都県市が「災害時の連携強化と協力体制の充実を図る事」を目的とし、毎年開催されています。九月一日を「防災の日」、八月三十日から九月五日までの間を「防災週間」とし、今年、千葉市は八月三十日(日)に開催の予定です。

(広報委員会)

千葉身障のはじまり

皆様のお手元に届く頃には終了しておりますが、次号にて、開催の結果をお知らせします。



広報委員長となり今号で三回目の発行となるが、前任者からの引継ぎの際、これまで発行されてきた「千葉身障」の控えも引き継がせて貰った。

これまでも、そしてこれからも、諸先輩方が残してくれた、記録を参考に千葉身障を発行していく事になると思う。今回は、記事に多少の余裕が出来た為、大先輩の残してくれた記念すべき第一号について掲載、記述していきたい。千葉身障第一号は昭和五十一年一月一日に発行されている。(広報委員長である私はまだ生まれていません)発行当初から用紙のサイズは「B5判」を使用しています。私が担当する前号、二二八号までこの用

紙サイズが継続されています。私の担当する二二九号からは「A4判」とさせていたでいます。内容の方ですが、一面では当時四代目会長に就任されたばかりの土屋幸子さんの年度初めの挨拶。二面では当時の役員名簿、体育祭開催報告。三面では引き続き体育祭開催報告、と旅行の計画(案)。四代、福祉大会開催のお知らせ、卓球活動再開のお知らせ

せ、編集後記。というような内容の他、諸所にお店の宣伝広告、俳句、旅行記、広告募集の掲示等、現在の広報とは多少異なる掲載がされている。宣伝広告募集や俳句、旅行記等、いろいろな記事が掲載されており、「みんな」で創り上げる「広報」といった形で、現広報委員長として参考にして

きたいと思う。現在も掲載の勧誘は四面で掲載しているが、更に力を注ぎ、「みんな」で創る「広報」にしていききたい。

(広報委員長)